

開催要領

国産トウモロコシ子実生産拡大のためのシンポジウム in 東北 —JRA 事業「国産トウモロコシ子実の有用性の検証事業」成果報告会—

趣旨

近年、輸入トウモロコシの価格は、生産地の異常気象による作況悪化、新興国との需要競合、為替変動、原油価格高騰による海上運賃の上昇等を受けて高騰し、高水準で推移しており、畜産経営を圧迫している。持続的な畜産物生産への転換に向けて、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための政策方針「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、国産トウモロコシ子実の生産・利用拡大を図ることが重要である。山形大学と農研機構は 2022 年より日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業「国産トウモロコシ子実の有用性の検証」を実施し、子実トウモロコシの栽培、乾燥調製、品質（かび毒、外観品質、飼料特性）に関わる技術開発や東北地方の生産現場の調査を実施してきた。そこで、国産トウモロコシ子実の普及拡大に向けて、JRA 事業で得られた知見、研究成果を関係機関・関係者と情報共有のため、本シンポジウムを開催する。

主催：国立大学法人山形大学

日時：令和 7 年 2 月 21 日（金）13：20～17：00

場所：ホテルメトロポリタン山形（山形県山形市香澄町 1 丁目 1 番 1 号）

Zoom によるオンライン配信も実施

内容

開会	13：20
開会挨拶	13：20～13：30
山形大学農学部 農学部長・教授	渡部 徹
基調講演	13：30～14：30
国産トウモロコシ子実の普及拡大の可能性と課題	
酪農学園大学食農環境学群 循環農学類長・教授	日向 貴久
行政施策の紹介	14：30～15：00
飼料をめぐる情勢と子実トウモロコシ等の自給飼料生産の支援施策	
農林水産省東北農政局生産部畜産課 課長補佐	西川 悠貴
<休憩>	15：00～15：10

JRA 事業「国産トウモロコシ子実の有用性の検証事業」成果報告

事業概要の紹介	15：10～15：20
山形大学農学部 教授 浦川 修司	
子実トウモロコシ栽培による温室効果ガス排出量の実態	15：20～15：40
山形大学農学部 教授 渡部 徹	
循環式及び移動式穀物乾燥機によるトウモロコシ子実の乾燥	15：40～16：00
農研機構東北農業研究センター 上級研究員 金井 源太	
東北地方で生産されたトウモロコシ子実の品質	16：00～16：20
山形大学農学部 准教授 松山 裕城	
虫害がトウモロコシ子実の品質に及ぼす影響	16：20～16：40
農研機構東北農業研究センター 上級研究員 森田 聡一郎	
質疑応答	16：40～17：00
閉会	17：00

参集範囲：生産者、農業関係団体、行政機関、普及指導機関、研究機関、民間企業等

参加申込み：

下記の参加申込みフォーム（URL、QR コード）よりお申し込みください。

お申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/0M2iwDuRby>



申込み締切：2月14日（金）

お問い合わせ先

山形大学鶴岡キャンパス事務部総務課

研究・社会共創室

E-mail：yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23

Tel：0235-28-2834